

武豊町議会議長 石川 よしはる 殿

武豊町議会議員 鈴木 一也

一 般 質 問 の 通 告 に つ い て

令和 8 年第 3 回武豊町議会定例会において、次のように質問したいから通告します。

質 問 事 項	質問の要旨(具体的にご記入願います)
1 武豊町役場 新庁舎建設に ついて	【趣旨説明】 現在の役場庁舎は、昭和 37 年に北庁舎が建設され、平成元年に南庁舎を増設し、建築後 64 年と 37 年が経過した建物です。特に北庁舎については、旧耐震基準で建てられており、耐震性が懸念される状況となっています。 こうした中、令和 5 年 3 月に策定された「名鉄知多武豊駅西グランドデザイン」では、武豊中央公園南側の公共機能集積エリアにおいて、役場庁舎を含む公共施設が集積し、様々な目的で住民が集い、豊かな交流が育まれるエリアとして、まちづくりを進めることとし、新庁舎建設が計画され、これに基づき、準備が進められています。 一方で、円安や資材不足等で物価や建築費が高騰する中、大規模事業となる庁舎建設には、多額の費用が必要となることが予想されます。 名古屋市では、リニア開業に合わせ、駅周辺の再開発が進んでいます。しかし、そんな中、老舗の百貨店が本年 2 月に営業を終了し、解体・新築立て替えで新しく生まれ変わると思っていたが、概算工事費や工事期間などが当初想定を大きく上回る見込みとなったことから、計画の再検証と見直しに着手し、計画の立て直しを進めていくようです。 このように民間企業でさえ、現状から見直しを考えている中、本町の計画は今後どのように進めていくのか心配です。 また、現在の庁舎跡地を有効に利活用するなど、財源確保に努めることも必要と考えます。 現庁舎の状況から、庁舎整備は必要であることは理解しています。しかし、新庁舎の建設が今後の町財政の負担とならないよう、また、将来世代への負担も踏まえ、財政状況などをしっかり見通したうえで、慎重に判断すべきと考え、以下質問します。 【質問事項】 ①駅西グランドデザインにおいて庁舎建設を計画した経緯は。 ②武豊町役場新庁舎建設について、現在の進捗状況はどうなっているか。 ③基金の積み立てなど、庁舎建設の財源は確保されているか。 ④現庁舎跡地の利活用はどう考えているか。